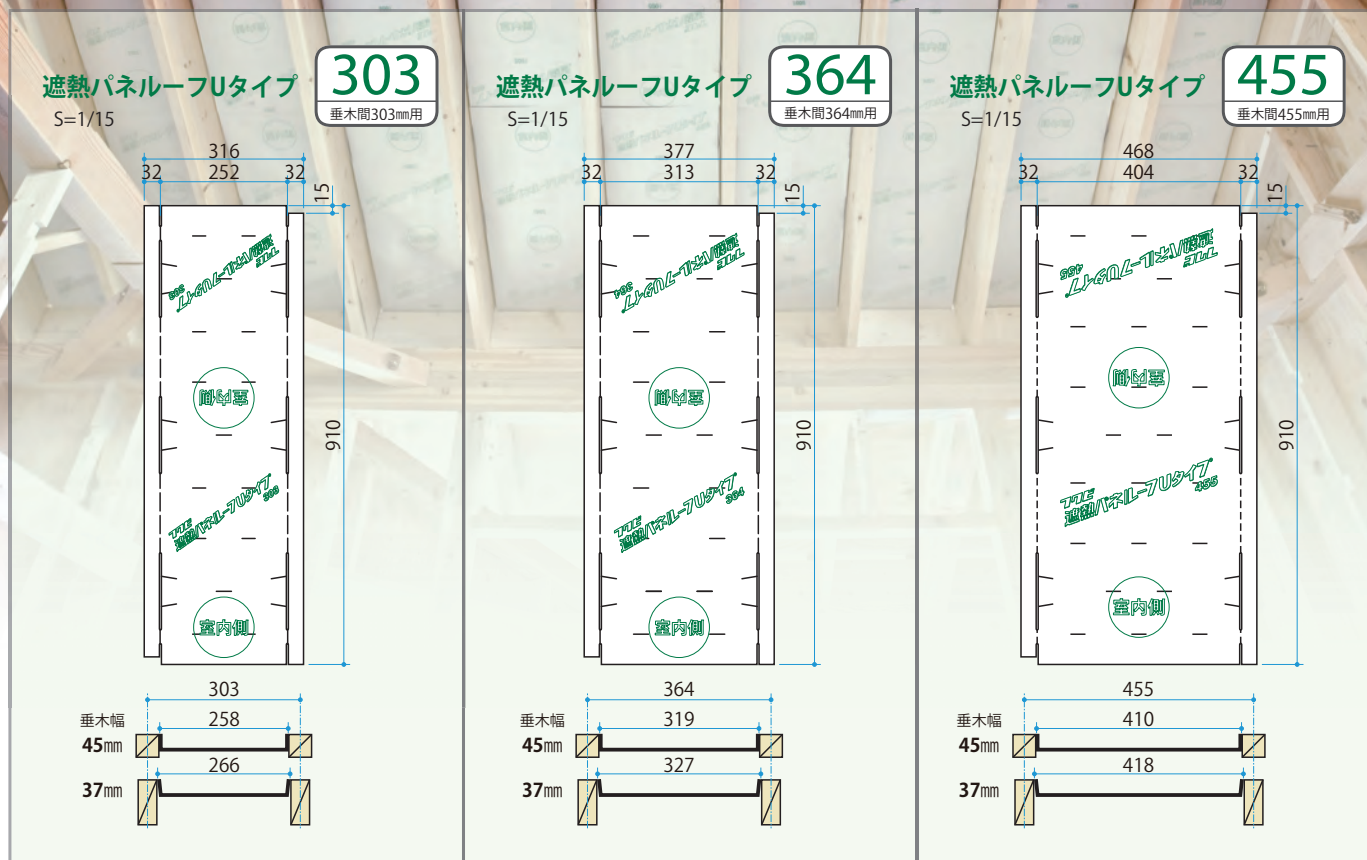


屋根垂木間遮熱パネル THE 遮熱パネル-FUタイプ

金属屋根・化粧スレート屋根対応

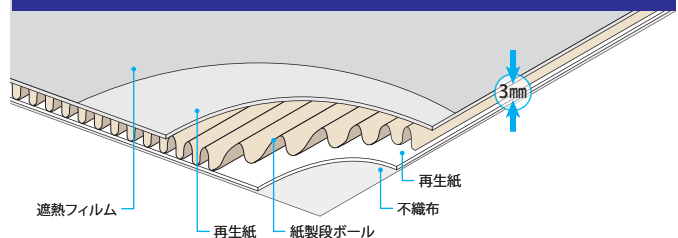
FUKUVI



金属屋根・化粧スレート屋根に対応した「遮熱パネル-FUタイプ」が新登場!!

野地板の下に反射空間・通気層を確保して、高い遮熱効果を発揮します。

優れた耐久性 & 施工性の遮熱パネル



▲ 保管上の注意

- 当製品は火気の近くまたは高温の場所に放置しないでください。
- 当製品は濡れることのないように保管をしてください。
- 当製品は平置きで保管をしてください。

▲ 施工上の注意

- 危険ですので製品の上には絶対に乗らないでください。
- 屋根側から施工する場合は、製品施工中および施工後雨に濡れないように、すぐに野地板を施工してください。
- 製品落下を防ぐため、製品は必ずタッカーで垂木に留めてください。

製品名	規格(巾×長さ×厚さ)	コード	単品価格(枚)	梱包価格(ケース)	梱包内容	バラ出荷
遮熱パネル-FUタイプ303	316 × 910 × t3 (mm)	SHAPU30	330 円	16,500 円	50枚入	○ 1枚単位
遮熱パネル-FUタイプ364	377 × 910 × t3 (mm)	SHAPU36	385 円	19,250 円	50枚入	○ 1枚単位
遮熱パネル-FUタイプ455	468 × 910 × t3 (mm)	SHAPU45	430 円	21,500 円	50枚入	○ 1枚単位

ご発注に関する注意事項 バラ出荷対応致します。ただし、1オーダーに正梱が含まれている場合についても梱包手数料として、¥2,000別途申し受けます。

●掲載の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。●商品色は印刷により実際の色とは異なって見える場合があります。価格に消費税は含まれていません。

フクビ化学工業株式会社

本社／福井市三十八社町33の66 ☎(0776)38-8013 〒918-8585
東京 ☎(03)5742-6301 大阪 ☎(06)6386-6950 名古屋 ☎(052)855-2332

2018年7月価格改定版

札幌 ☎(011)896-7500
東京 ☎(029)841-7611
西東京 ☎(042)529-3911
北陸 ☎(0776)38-8010
岡山 ☎(086)232-0601
福岡 ☎(092)471-5800

盛岡 ☎(019)654-7511
宇都宮 ☎(028)636-3521
神奈川 ☎(045)470-1050
静岡 ☎(054)288-3600
広島 ☎(082)246-7211
鹿児島 ☎(099)259-0220

仙台 ☎(022)287-3471
北関東 ☎(048)661-0400
新潟 ☎(025)241-7832
京都 ☎(075)662-2315
高松 ☎(087)822-2301
沖縄 ☎090-1943-2112

<https://www.fukuvi.co.jp>

KC564 2018.07 (R)

FUKUVI

FUKUVI INFORMATION

製品情報 屋根遮熱材

金属屋根
化粧スレート屋根
対応

高遮熱 & 通気層のダブル機能で
快適・省エネ・高耐久の家造りをサポート

新築

リフォーム

屋根垂木間遮熱パネル

THE 遮熱パネル-FUタイプ (ウレタン吹付対応タイプ)

303 364 455
垂木間303mm用 垂木間364mm用 垂木間455mm用

侵入熱量40%カット
輻射熱の侵入を減少

通気層空間
30mm
確保

フクビの遮熱パネルは

① 簡単!

両端を折って、垂木にタッカーで留めるだけ

② 便利!

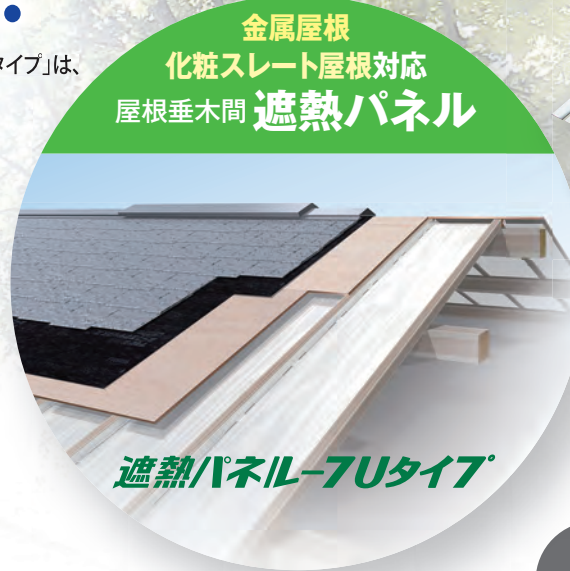
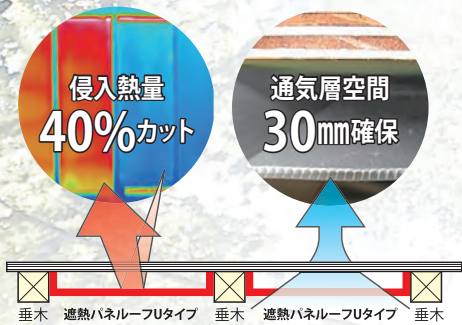
垂木間303mm、364mm、455mmに対応

③ 納得!

ウレタン吹付に対応

遮熱パネルで エコ屋根づくり!

野地板の下に反射空間・通気層を確保する「遮熱パネルフUタイプ」は、侵入熱量40%カット!! 簡単・便利にエコ屋根を実現します。

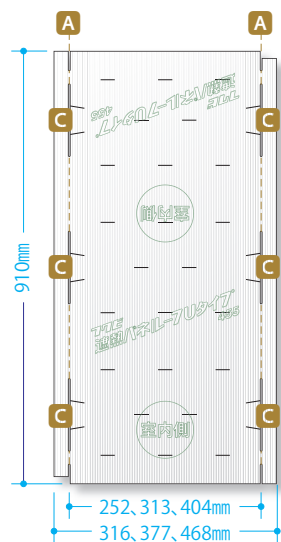


303 364 455
垂木間303mm 垂木間364mm 垂木間455mm

垂木間の幅に応じ3アイテムをご用意。
幅に合わせてお選びください。

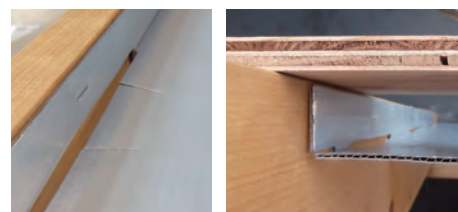
1
簡単!

両端を折って、垂木にタッカーで留めるだけ



「折って、はめて、留める」
簡単3ステップ施工の「遮熱パネルフUタイプ」
なら、作業効率も大幅アップ!!

- A 折り目に沿って、パネル両端を直角に折る
- B 折った「遮熱パネルフUタイプ」を垂木間にはめ込む
- C スリット位置(計6箇所)をタッカーで留める

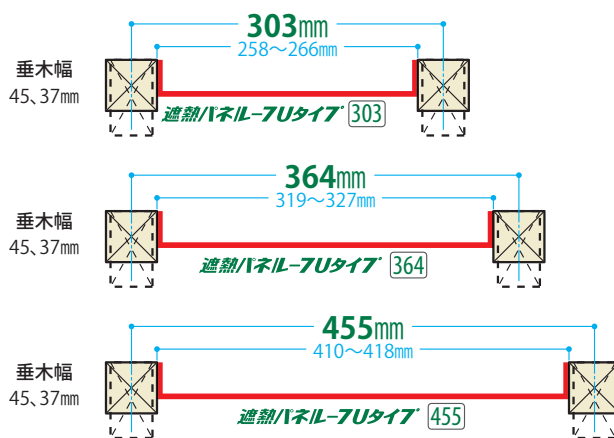


左右の折り目に3箇所ずつ入っているスリット位置で留める。
Uタイプが野地板下に通気層を確保。

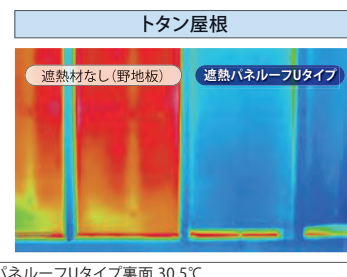
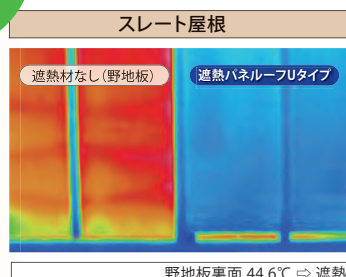
2
便利!

垂木間303、364、455mmに対応

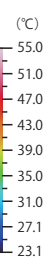
スリットがアジャスター機能を果たすため、
垂木間303、364、455mm、内寸258~418mmまでに対応可能です。



遮熱処理実験で 14°C 低減を確認



真夏を想定し、遮熱材なしの場合と「遮熱パネルフUタイプ」施工の場合の温度変化をサーモカメラで測定した比較実験。化粧スレート(コロニアル)とトタン瓦葺きの屋根モデルを使用。



3 納得!

ウレタン吹付に対応



野地板の施工完了後に、小屋裏側から施工することも可能です。

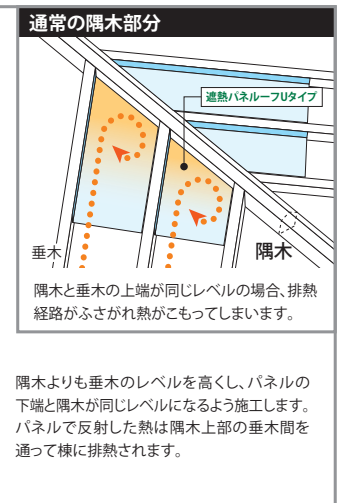
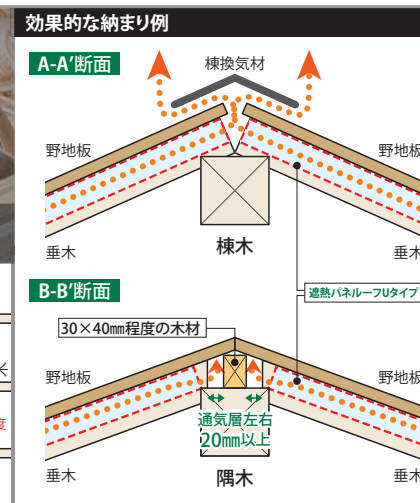
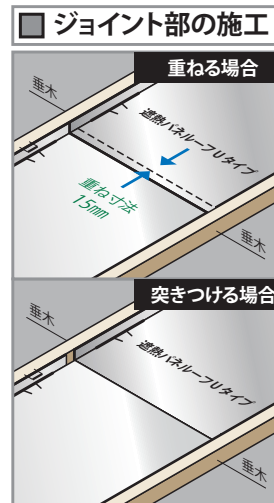
- 1 製品の両端を折り曲げ、垂木間に挿入(野地板に当たるまで押し込む)
- 2 スリット部分を持ち上げて、その隙間からタッカーで留める(6箇所)

屋根側
からの施工

野地板施工と併行して施工してください。
野地板が未施工の場合、安全な足場を確保して施工を行ってください。
雨には絶対に濡らさないでください。水分により製品が変形します。



密着性良好で
安心してウレタンを
吹付けることができます。



Q&A

- Q 棟換気を使用しない場合に遮熱効果はありますか?
A 簡易躯体モデルで試験をしたところ、裏面温度で12.2°C・空間温度で3.8°Cの低減効果を確認しましたが、棟換気材を設けたほうが反射した熱を排出しやすくなりますので、使用を推奨します。
- Q 小屋裏側からの施工が基本ですが、屋根側から施工するのは大丈夫ですか?
A 水に濡れると芯材は紙製のため製品が変形しますので、すぐに野地板を施工するなど、雨には絶対に濡らさないで施工してください。
- Q 一坪あたりの施工枚数は?
A ジョイント部を突きつける場合、垂木間303mmでは12枚(12.21枚)、垂木間364mmでは10枚(10.17枚)、垂木間455mmでは8枚(8.13枚)が必要目安枚数となります。(※カッコ内の枚数は、ジョイント部を重ねた場合)
- Q 軒先・棟木のどちらから施工したほうがいいですか?
A 小屋裏側からの施工が基本ですが、屋根側からの場合は軒先(もしくは桁上)から棟木に向かって施工し、野地板を施工しながら順次施工して、雨漏れ防止と足場の確保をしてください。小屋裏側からは軒先(もしくは桁上)・棟木のどちらからでも施工可能です。
- Q 現場発泡ウレタン吹付には対応できますか?
A 使用できます。遮熱パネルフUタイプは反応熱による変形を抑える仕様となっています。

